

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Trabectome または Microhook を用いた流出路再建術・白内障同時手術の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年4月1日から2019年6月30日までに昭和大学病院附属東病院で
水晶体再建術（白内障手術）と流出路再建術（緑内障手術）の同時手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当院ではこれまで Trabectome® system (Neomedix Inc: 以下 Trabectome) を用いて行ってきました。近年では ab interno trabeculotomy microhook® (株式会社イナミ: 以下 Microhook) を用いた方法も登場しており、trabectome に比べ、より安価かつ簡便な術式です。そこで、両術式を用いた水晶体再建術・流出路再建術同時手術の結果を比較し、両術式の効果および安全性が同等であるかどうかを検討するために、本研究を計画致しました。

診療記録を参照し、患者さんの背景および、初診時・手術前・手術後（術翌日～1週間および術後1か月）の視力・眼圧・診察所見（主に前房出血の程度）を調査項目とし、Trabectome 群と Microhook 群での治療効果を比較します。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院附属東病院長の研究実施許可を得てから2020年2月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録、具体的には、患者背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴、現病歴、薬剤使用歴）および初診時、手術前、手術後（術翌日～1週間および術後1か月）の視力・眼圧・診察所見（主に前房出血の程度）を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部眼科学講座

氏名：木崎順一郎

住所：東京都品川区旗の台1-5-8

電話番号：03-3784-8000

研究責任者：木崎順一郎